

# 2015年度 第2回 COC 学生成果報告会 『 2nd COC Activities; the Best Selections 』

整理番号1502

木材業者との連携による居住環境の改善 [江東区]

COC PJ代表者:工学部 建築学科 南一誠先生

プレゼンター: 理工学研究科 建設工学専攻 佐藤慎吾・永田圭甫

パネリスト: 理工学研究科 建設工学専攻 永田圭甫・佐藤慎吾

## 1. 教育 建築設計演習Ⅲ (学部3年)

「成熟社会における市民の文化活動拠点としての図書館」をテーマに、江東区立深川図書館周辺を対象地域として設計演習(PBL)を実施。11月14日(土)に豊洲キャンパスにて公開講評会を開催。約80名の受講生から選ばれた作品6点について、概ね5時間の発表した。江東区職員の参加もいただき、実際に行政計画を策定する立場、また、公共施設を運営する立場からの貴重なコメントを頂いた。



## 3. 研究+教育 修士論文 (大学院)

共同住宅の長期居住履歴と改修に関する実態調査



## 4. 教育+社会貢献 ゼミナール (学部3・4年、大学院)

2015年10月、文化庁 平成27年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「き、がわりをき、がえる」にて、試作した木造インフィルユニットの軸組みを展示。



木材流通加工業との連携による居住環境の改善[江東区]

# プロジェクト概要

- ① 江東区:共同住宅の老朽化+高齢者の一人住まい  
> 「住まい」と「住み手」のミスマッチを改善
- ② 地場産業である、木材流通加工業の再生・活性化
- ③ 高マンション居住率によるコミュニティの希薄化  
> 高齢化によるあらたな社会ニーズへの対応
- ④ 主なプログラム
  - ・ 江東区、地元企業と連携し、PBL型教育・研究を実施
  - ・ 問題解決型PBLで取り生んだ課題を、地域で発表
  - ・ 定期的な地域でのフィールドワークや企業訪問の実施

## 2. 教育+研究 卒業論文、修士論文 (学部4年、大学院)

熟練工が不足する中、高い技能を有さない職人や居住者自身によるセルフビルドが可能な木造インフィル構法の開発を、伝統工法の棟梁の指導のもとに実施した。



## 4. 教育+社会貢献 ゼミナール (学部3・4年、大学院)

2015年10月、文化庁 平成27年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「き、がわりをき、がえる」にて、試作した木造インフィルユニットの軸組みを展示。



## 5. 社会貢献

2015年10月18日、文化庁 平成27年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「き、がわりをき、がえる」にて、日本の建築が昔から持っていた特質である可変性について講演、パネルディスカッション。2016年3月12日、木材供給に関わる地元団体とシンポジウムを共催、これからの木材活用について議論を展開。

